



令和4年6月30日  
内閣府沖縄担当部局

## 令和4年度北部振興事業の実施について（第3回）

### 1. 事業の概要

北部12市町村等の要望に基づき、産業の振興、定住条件の整備に資する事業を実施。

### 2. 今回配分の状況（国費ベース）

非 公 共 事 業

新規 10 事業

今回配分額 13.6 億円

※詳細は別添資料のとおり

（参 考）

<予算計上>

○沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業） 令和4年度予算額44.5億円  
・補助率：8／10

<今回の配分の考え方>

○沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。  
○配分対象の事業は、北部12市町村から北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

\* 問合せ先 \*

政策統括官(沖縄政策担当)付  
(担当 鈴木、加藤)  
電話 03-6257-1693

## 令和4年度に実施する振興事業について

令和4年6月30日

## 【非公共事業】

テーマ：産業の振興

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
慶佐次湾のヒルギ林遊歩道整備事業 (東村)	令和4年度 ～ 令和5年度	297百万円 (238百万円)
<p>東村ふれあいヒルギ公園では、国指定天然記念物である「慶佐次湾のヒルギ林」を活用したマングローブ観察とカヌー体験等体験型観光が安定した入込み客の実績を上げているが、園内の遊歩道については、長期にわたり高温多湿の中で利用されてきたため、主構造材（木造）の支柱・桁において広範囲で損傷が進んでおり、早急な整備が必要となっている。</p> <p>このため、木製の遊歩道を耐久性の高い部材（GRP）で再建し、施設の安心・安全な利用と、遊歩道の長期的な活用を目指す。また、ヒルギの成長により観察環境の変化が生じていることから、展望デッキを低床化し観察機能を付加するとともに、世界遺産登録により外国人を始めとする利用者の増加が予想されるため、受入体制を整備し、施設利用の促進を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
スポーツコンベンション交流拠点 施設整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和6年度	72百万円 (57百万円)
<p>21世紀の森公園の野球場は、北海道日本ハムファイターズのキャンプ地であり、現在整備中のサッカー・ラグビー場は、ラグビートップリーグのキャンプの誘致を予定している。また、自転車ロードレース大会の「ツール・ド・おきなわ」も同公園を起点として開催されている。</p> <p>これらのアスリートが共用できる施設（セミナールーム等）としてスポーツコンベンション交流拠点を整備し、スポーツ環境の改善を図る。</p> <p>また、この施設を通じて、市民とアスリートとの交流の場を創出し、アスリートの競技レベルを底上げするだけでなく、北部地域のスポーツ意欲・実施率向上等を促進し、地域活性化を図る。</p> <p>(担当省庁) スポーツ庁</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
金武町ベースボールスタジアム 機能高度化事業 (金武町)	令和4年度	297百万円 (238百万円)
<p>金武町ベースボールスタジアムは、プロ野球（東北楽天ゴールデンイーグルス）のキャンプ、練習試合や全日本クラブ選手権の予選大会等県内各種大会に使用されているが、現在使用している電光掲示板では、選手名の表示や観戦者に対する情報提供ができないこと等が課題となっている。</p> <p>このため、全面フルスクリーン表示による電光掲示板の機能高度化を図ることにより、プロ野球キャンプや野球チームの合宿の継続的な誘致、利用者及び観戦者の増加に繋げ、地域の活性化に寄与する。</p> <p>(担当省庁) スポーツ庁</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
羽地地域交流拠点整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和7年度	229百万円 (183百万円)
<p>羽地の駅に隣接する仲尾次・真喜屋区間内水面（真喜屋湿地帯）周辺は、美しい羽地内海やマングローブが群生し、珍しい野鳥を見ることができる豊かな自然環境を有し、近年多くの観光客が訪れる古宇利島や本部半島とやんばる三村の世界自然遺産を繋ぐルート上に位置する。名護東道路が開通し、沖縄自動車道を通じた本島中南部からの利便性が向上したことにより、今後北部地域への観光客の流入が見込まれる。</p> <p>そこで、静謐な内海環境を活かす親水護岸や、特定鳥獣保護区を活かした観察デッキ、羽地内海周辺のサイクリングコースで利用できる駐輪場の整備等、羽地内海に面した地の利を活かした拠点施設の整備を進めていくことで、羽地の駅周辺の拠点性と独自性を高め、近隣類似施設との棲み分けと連携を図っていくことにより、羽地地域のみならず北部地域への観光周遊を促し、北部地域全体の経済効果を創出する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
名護漁港浮棧橋整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和5年度	16百万円 (13百万円)
<p>名護市は沖縄県北部に位置し、豊かな自然の象徴である名護湾を活用したまちづくりを推進するため、名護漁港周辺を対象エリアとした様々な施策を展開している。</p> <p>那覇～名護間を結ぶ高速船の運航に伴い、多様な移動手段の一つとして利用が期待できる。また、名護湾を活用した新たなイベント等で本市への観光客の流入も期待できる。しかし、名護漁港内では船への乗降手段としては、岸壁へ船を横付けし、乗り降りしており、潮の干満により、船への乗降が安心・安全に行えず、利便性に支障をきたしている。</p> <p>浮棧橋を整備することにより、高速船への乗降の安全性、利便性の向上を図り、観光客や地域住民等への高速船利用を促進し、北部圏域全体の観光振興や活性化に寄与する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
内花区地域活動拠点活性化 施設整備事業 (伊是名村)	令和4年度 ～ 令和5年度	29百万円 (23百万円)
<p>伊是名村は自然豊かな島であり、豊かな資源を活かしたサトウキビ・水稻栽培、モズク養殖が盛んである。モズク養殖に関しては県内有数の一大産地となっており、沖縄県の拠点産地として認定されている。しかし、少子高齢化の影響による人口減少に伴い、第1次産業従事者が減少傾向にある事に加え、域内外の交流が希薄となっており、今後地域活力の低下が懸念される。</p> <p>そのため、体験交流、宿泊機能等を備えた「地域活動拠点活性化施設」を整備し、担い手希望者や村を訪れた交流者に対し、本施設で滞在しながら農漁業体験や文化交流体験などを行い農漁業の楽しさや地域の魅力を感じてもらうことで、第1次産業及び地域の担い手を確保し、持続可能で活力のある地域コミュニティ形成の促進を図るとともに、基幹産業である農水産業の活性化を図ることで、北部地域の農水産業振興の推進に寄与する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
二見以北交流機能強化推進事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和6年度	279百万円 (224百万円)
<p>二見以北交流拠点施設（わんさか大浦パーク）は、2011年の供用開始以降、名護市東海岸唯一の観光滞在拠点施設として、日帰り観光や、周辺エリアに宿泊し、滞在中に地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ、いわゆる農泊（民泊）体験観光客等の窓口となっている。</p> <p>農泊においては、ウコンやシークワサーの収穫といった沖縄ならではの農業体験にもともと高いニーズがあったところ、当地がNHK朝ドラのロケ地となったことを機に、農泊体験希望者が顕著な増加傾向となっている。一方で、夏場の繁忙期に台風や豪雨に見舞われることが多く、農地・農泊エリアへの浸水被害が度々発生し、農泊客に対する安全な農業体験の提供が困難となっている。また、拠点施設と農地エリア等を結ぶ農道についても、大雨によって舗装面の陥没や法面崩壊が発生し、農泊客の移動や、拠点施設への農作物の輸送・販売に支障を来している。</p> <p>このため、農地エリアにおける各種工事により当地を訪れる観光・宿泊客の安全性を確保するとともに、世界自然遺産への玄関口である交流拠点施設においては物販スペースの拡張や駐車場・トイレ・カフェ等の整備を行い、当地の観光満足度を高め、より一層の発展に寄与する取り組みを行うものである。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

テーマ： 定住条件の整備

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
多世代交流施設整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和7年度	249百万円 (199百万円)
<p>名護市では、子育てや家庭に関する相談窓口が市内各地に点在していることから、妊娠・出産、子育てに関する拠点が求められており、また、子どもたちが平日の放課後や土日等、安心・安全に過ごせる居場所が無く課題となっている。</p> <p>このため、本施設を整備することで、子育てや子ども、女性相談に関する相談窓口や相談時や放課後等に子ども達が安心・安全に過ごせる居場所を確保し、子育て支援の強化、子どもの生活環境の向上により、定住人口の増加を図る。</p> <p>併せて、子どもや若い世代と高齢者との交流の促進を図ることで、全ての世代が安心・安全・健康に暮らせる町づくりを実現し、定住条件の向上を目指す。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
安和・山入端緑地整備事業 (名護市)	令和4年度 ～ 令和5年度	11百万円 (9百万円)
<p>沖縄本島北部地域にある名護市西部に位置する安和地区は、近年、少子高齢化が進み人口が20年前より1割少ない水準にあり、定住人口や交流人口の増加が課題となっている。また、安和地区は、名護市街地から離れており、子育て環境や健康増進環境が十分でなく、区内唯一の公園である安和・山入端緑地も利用者のニーズに答えられていない状況である。</p> <p>このため、スポーツ・レクリエーション機能、健康増進機能を備えた緑地整備を行うことで、子育て環境や健康増進環境を向上させ、定住人口の増加を図る。</p> <p>また、子育て世代と高齢者などの多世代が交流出来る拠点施設として、健やかな暮らしにつなげ地域の魅力を向上させつつ、他地域のパークゴルフ場と連携した地域間交流や、北部地域の子供会、老人会、観光客等も活用できる交流拠点の場として活用し、定住人口や交流人口の増を目指していく。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	令和4年度事業費 (うち国費)
名護市周遊バス創出事業 (名護市)	令和4年度	216百万円 (172百万円)
<p>北部地域においては、公共交通の利便性向上が課題となっており、名護市が令和2年度、令和3年度に実施したコミュニティバスの実証実験の結果を踏まえ、同市が主体となり、コミュニティバスを整備し、新規路線において、周辺町村への路線バスとの接続ポイントを設け、利便性の向上を図ることにより、市街地主要施設（観光施設、商業施設、病院、学校等）へのアクセス向上、路線バス不便地域（二見地区等）の解消、観光客の周遊支援を図る。</p> <p>なお、コミュニティバスの導入にあたっては、高齢者、障がい者に配慮し、ノンステップバスとし、CO2排出量及び燃料費の削減に向けてEV車両とする。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

# 令和4年度 北部振興事業(非公共)(3次配分)配分事業箇所位置図

【新規】

【伊是名村】 R4-R5(内閣府)  
内花区地域活動拠点活性化施設整備事業

伊平屋村

伊是名村

【新規】

【名護市】 R4-R7(内閣府)  
羽地地域交流拠点整備事業

国頭村

伊江村

今帰仁村

大宜味村

東村

本部町

【新規】

【名護市】 R4-R5(内閣府)  
安和・山入端緑地整備事業

【新規】

【名護市】 R4-R6(スポーツ庁)  
スポーツコンベンション交流拠点施設整備事業

【新規】

【東村】 R4-R5(内閣府)  
慶佐次湾のヒルギ林遊歩道整備事業

【新規】

【名護市】 R4-R7(内閣府)  
多世代交流施設整備事業

名護市

【新規】

【名護市】 R4-R6(内閣府)  
二見以北交流機能強化推進事業

【新規】

【名護市】 R4-R5(内閣府)  
名護漁港浮棧橋整備事業

恩納村

宜野座村

【新規】

【名護市】 R4(内閣府)  
名護市周遊バス創出事業  
※本事業では名護市内広域を対象としているため、配分事業箇所として市名を赤字で表示している

テーマ:産業振興のための整備

テーマ:定住条件の整備

金武町

【新規】

【金武町】 R4(スポーツ庁)  
金武町ベースボールスタジアム機能高度化事業

事業主体:名護市、金武町、東村、伊是名村  
事業数:10新規事業